

平成21年11月期 第2四半期決算短信

平成21年7月15日

上場取引所 東

上場会社名 北興化学工業株式会社
 コード番号 4992 URL <http://www.hokkochem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年7月15日

(氏名) 丸山 孝雄
 (氏名) 渡辺 英夫
 配当支払開始予定日

TEL 03-3279-5152
 平成21年8月10日

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年11月期第2四半期の連結業績(平成20年12月1日～平成21年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年11月期第2四半期	20,755	—	143	—	△39	—	△371	—
20年11月期第2四半期	25,483	0.6	704	△27.8	488	△46.2	284	△50.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年11月期第2四半期	△13.44	—
20年11月期第2四半期	10.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年11月期第2四半期	48,208	—	14,685	—	30.5	—	531.77	
20年11月期	45,121	—	14,982	—	33.2	—	542.38	

(参考) 自己資本 21年11月期第2四半期 14,685百万円 20年11月期 14,982百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年11月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年11月期	—	5.00	—	—	—
21年11月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年11月期の連結業績予想(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	42,100	△11.4	230	27.6	260	—	△120	—	—	△4.35

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年11月期第2四半期 29,985,531株 20年11月期 29,985,531株

② 期末自己株式数 21年11月期第2四半期 2,369,744株 20年11月期 2,362,172株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年11月期第2四半期 27,618,434株 20年11月期第2四半期 27,486,168株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は現時点で入力可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、当第2四半期連結会計期間については、「財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部等を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、たな卸資産の区分表示については改正後の「四半期連結財務諸表規則」を早期に適用しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の金融危機を発端とした世界的な景気悪化と円高の進行に伴う輸出の急減により企業収益が大幅に悪化しました。その結果、設備投資の抑制や生産調整、株価の下落、個人消費の低迷が進行し、景気は急速に後退しました。

国内農業を取り巻く環境は、昨年の世界的な穀物需給の逼迫に伴う価格高騰や食品の安全性確保から、食糧自給率の向上や減反政策の見直しなどの議論が高まっているものの、農家の高齢化や耕作放棄地の増大等、依然として厳しい状況にあります。

農薬以外のファインケミカル業界におきましては、世界経済の悪化や円高による輸出の急減により業界全体が在庫調整に動いた結果、販売は非常に厳しい状況となりました。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、農薬事業、ファインケミカル事業ともに積極的な販売に努めましたが、全体の売上高は207億5千5百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

利益面では、営業利益は売上高の減少並びに新剤開発による委託試験研究費の増加により1億4千3百万円（前年同期比79.7%減）、経常損失は3千9百万円（前年同期は経常利益4億8千8百万円）となりました。四半期純損失は会計基準の変更にともない棚卸資産の評価減を特別損失に計上したことなどから3億7千1百万円（前年同期は四半期純利益2億8千4百万円）となりました。

各事業における概況は以下のとおりです。

【農薬事業】

農薬事業の主力である国内販売は、プルートMC、パンチャー1キロ粒剤・フロアブルなどの拡販に努めましたが、価格改定前の駆け込み需要の反動による売上の落ち込みを回復することができず、売上高は前年同期に比べ減少しました。

この結果、当事業部門の売上高は158億4千5百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

【ファインケミカル事業】

農薬以外のファインケミカル製品の販売は、医農薬中間体は伸長しましたが、電子材料原料、樹脂添加剤などが販売不振に伴う在庫調整の影響を受け大きく減少しました。

この結果、当部門の売上高は48億5千3百万円（前年同期比36.7%減）となりました。

【その他】

石油製品等その他の売上高は、石油製品価格の値下りにより5千7百万円（前年同期比34.4%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産の残高は482億8百万円となり、前連結会計年度末比30億8千7百万円の増加となりました。これは農薬の需要期となる上半期の季節的変動による受取手形及び売掛金並びにたな卸資産等の増加が主な要因です。

負債の残高は335億2千3百万円となり、前連結会計年度末比33億8千4百万円の増加となりました。これは上記売上債権等の季節的変動に伴う短期借入金の増加および当社の新工場建設に伴う長期借入金の増加が主な要因です。

純資産の残高は146億8千5百万円となり、前連結会計年度末比2億9千7百万円の減少となりました。これは主に四半期純損失を計上したことによるものです。

(2)キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、55億7千4百万円の支出超過となりました。これは、主に未払費用の減少、農薬の需要期となる上半期の季節的変動によるたな卸資産の増加および売上債権の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、18億1千6百万円の支出超過となりました。これは、主に有形固定資産の取得および定期預金の預入によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、69億2千8百万円の収入超過となりました。これは、主に長期借入金の増加および短期借入金の増加によるものです。

(現金及び現金同等物の期末残高)

現金及び現金同等物の四半期末残高は期首残高より4億3千2百万円減少し、11億9千7百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期につきましては前回予想を上回る利益の改善がありましたが、通期業績予想につきましては、原材料価格が上昇傾向にあること、在庫調整のため減産を進めていることおよび研究開発支出の増大が見込まれることから、前回発表（平成21年4月13日）を据え置きます。今後の動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合は速やかに公表させていただきます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

I. 有価証券の減損処理方法

四半期連結会計期間末における有価証券の減損処理にあたっては、四半期洗替え法を採用しております。

II. 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算出にあたっては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、当第2四半期連結会計期間については、「財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部等を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、たな卸資産の区分表示については改正後の「四半期連結財務諸表規則」を早期に適用しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日企業会計基準第9号）を適用し、当社及び国内連結子会社は棚卸資産の評価基準について、低価法から原価法（収益性の低下により簿価切下げの方法）に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、従来の方法によった場合に比べて、税金等調整前四半期純損失が5億2千6百万円増加しております。

③リース取引に係る会計基準

第1四半期連結会計期間より「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）を早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この変更による損益への影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,997	1,629
受取手形及び売掛金	15,833	14,937
商品及び製品	11,320	9,828
仕掛品	177	362
原材料及び貯蔵品	3,958	4,227
繰延税金資産	328	195
その他	561	230
貸倒引当金	△7	△9
流動資産合計	34,167	31,398
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,878	2,933
機械装置及び運搬具（純額）	2,891	3,132
土地	799	824
その他（純額）	2,800	2,345
有形固定資産合計	9,369	9,234
無形固定資産		
ソフトウェア	191	250
その他	276	278
無形固定資産合計	467	529
投資その他の資産		
投資有価証券	2,730	2,432
繰延税金資産	1,117	1,157
その他	371	385
貸倒引当金	△13	△14
投資その他の資産合計	4,205	3,960
固定資産合計	14,042	13,723
資産合計	48,208	45,121

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,769	9,846
短期借入金	8,564	5,399
1年内返済予定の長期借入金	1,303	500
未払法人税等	90	55
未払費用	2,317	4,199
その他	1,441	2,268
流動負債合計	22,484	22,267
固定負債		
長期借入金	6,989	3,894
退職給付引当金	3,138	3,053
環境対策引当金	752	752
その他	160	173
固定負債合計	11,039	7,872
負債合計	33,523	30,139
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	9,121	9,630
自己株式	△988	△986
株主資本合計	13,955	14,466
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	847	662
繰延ヘッジ損益	△1	△23
為替換算調整勘定	△115	△124
評価・換算差額等合計	730	516
純資産合計	14,685	14,982
負債純資産合計	48,208	45,121

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年5月31日)
売上高	20,755
売上原価	16,072
売上総利益	4,683
販売費及び一般管理費	4,540
営業利益	143
営業外収益	
受取利息及び配当金	33
受取手数料	95
受取ロイヤリティー	49
その他	65
営業外収益合計	242
営業外費用	
支払利息	131
たな卸資産廃棄損	213
その他	80
営業外費用合計	424
経常損失(△)	△39
特別利益	
固定資産売却益	37
貸倒引当金戻入額	3
特別利益合計	40
特別損失	
固定資産除却損	41
たな卸資産評価損	526
特別損失合計	568
税金等調整前四半期純損失(△)	△567
法人税等	△196
四半期純損失(△)	△371

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△567
減価償却費	740
退職給付引当金の増減額(△は減少)	86
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3
受取利息及び受取配当金	△33
支払利息	131
売上債権の増減額(△は増加)	△917
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,037
仕入債務の増減額(△は減少)	△910
未払費用の増減額(△は減少)	△1,883
その他	△1,106
小計	△5,502
利息及び配当金の受取額	33
利息の支払額	△130
法人税等の支払額	△59
法人税等の還付額	83
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,574
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△800
有形固定資産の取得による支出	△1,091
有形固定資産の売却による収入	75
その他	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,816
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,167
長期借入れによる収入	4,000
長期借入金の返済による支出	△100
配当金の支払額	△138
その他	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,928
現金及び現金同等物に係る換算差額	31
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△432
現金及び現金同等物の期首残高	1,629
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,197

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(5) セグメント情報

（事業の種類別セグメント情報）

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年12月1日 至 平成21年5月31日）

当社グループの主たる事業は、農薬及び農薬以外のファインケミカル製品の製造及び販売であり、当該事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計額及び営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

（所在地別セグメント情報）

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年12月1日 至 平成21年5月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

（海外売上高）

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年12月1日 至 平成21年5月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

「参考資料」

前年同四半期に係る連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

	前年同四半期 (平成20年11月期 第2四半期)
区分	金額 (百万円)
I 売上高	25,483
II 売上原価	20,191
売上総利益	5,292
III 販売費及び一般管理費	4,587
営業利益	704
IV 営業外収益	176
V 営業外費用	392
経常利益	488
VI 特別利益	1
VII 特別損失	46
税金等調整前四半期純利益	443
税金費用	160
四半期純利益	284

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年11月期 第2四半期)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	443
減価償却費	750
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△ 95
売上債権の増減額(△は増加)	△ 4,145
割引手形の増減額(△は増加)	1,584
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 1,802
仕入債務の増減額(△は減少)	2,713
未払費用の増減額(△は減少)	△ 1,494
その他	203
小計	△ 1,843
法人税等の支払額	△ 186
その他	△ 74
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,103
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 1,515
その他	△ 365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,880
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,114
配当金の支払額	△ 139
その他	265
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,240
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 746
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,296
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,549